

大治町の あゆみ

1975 ~ 2025

O h a r u T o w n

愛知県大治町

大治町の あゆみ 1975 ～ 2025

愛知県大治町



南東より、大治町域を臨む（令和元年）



大治小学校の校舎竣工と市バスの開通を祝して開かれた展覧会（昭和 37 年）



大治村役場（右）と村民体育館（左）が、この日から町役場・町民体育館に（昭和 50 年）



町制施行を祝い、校庭に人文字を描く児童たち（昭和 50 年）



町の大動脈、名古屋津島線バイパス新大治橋・新大正橋の開通（平成 5 年）



全国生涯学習フェスティバルで、町の伝統的な産業である扇骨を紹介（平成5年）



新成人によるアトラクション（平成8年）



西條を中心に多くみられた、扇骨業（平成5年）



ふれあいフェスティバル（平成8年）



町に甚大な被害を及ぼした東海豪雨（平成 12 年）



町制施行 40 周年記念式典（平成 27 年）

ごあいさつ

愛知県海部郡大治町は昭和 50 年 4 月 1 日に町制を施行し、令和 7 年に 50 周年を迎えました。そこで記念事業の一環として、半世紀の軌跡を振り返る『大治町のあゆみ 1975 ～ 2025』を刊行することにしました。

大治町では、昭和 54 年に『大治町史』および『大治町民俗誌 上・下』を刊行しました。その内容は、本町域の古代から町制施行前後に至るまでの自然、歴史、暮らしなど幅広い分野を取り上げています。多くの皆さまからの聞きとりと資料をもとにまとめており、町の歴史を振り返るときに欠かせない総合的な文献です。その刊行より 40 年以上が経ち、元号も昭和から令和に至り、まちの風景や人々の暮らし、それに伴うまちづくりの形などが大きく変化してきました。同時に、まちの移り変わりを伝える資料や人々の記憶にあるまちの姿を大切な記録として保存し、後世に伝えて行く重要性も一段と高まっています。

このようなことを踏まえ、本書では昭和 50 年の町制施行以降の半世紀の出来事を中心として取り上げる内容となっております。写真やグラフを多く掲載することで、誰もが興味を持てる見やすい構成となるよう工夫しました。大治町の歴史を知り、まちへの愛着を更に深めていただける一助になれば幸いです。

結びに、編さんのために、貴重な資料や情報をご提供くださいました多くの皆さまに心からお礼を申し上げます。

令和 7 年 11 月

大治町長 鈴木 康 友



ごあいさつ 1

もくじ 2

凡 例 10

序 章 大治町の成り立ち

第 1 節 まちの概要 12

第 2 節 古代から近世まで 13

 ■ 古代・中世のまちのすがた 13

 ■ 尾張藩の領知・財政と大治 14

コラム 江戸時代の大治は柿どころ？ 14

コラム 「お代官様！お目こぼしを」 15

第 3 節 近代と大治村の誕生 16

 ■ 廃藩置県と愛知県の成立 16

 ■ 戸籍のはじまり 16

 ■ 大区小区制から区制へ 16

 ■ 郡制の施行と戸長役場の開設 17

 ■ 連合戸長役場の設置 18

 ■ 市制・町村制での大治村の誕生 19

第 4 節 大治村から大治町へ 20

 ■ 明治期の合併問題 20

 ■ 第二次世界大戦と大治 20

コラム 名古屋城まで燃えた空襲 21

 ■ 終戦、地方自治法下での大治 22

 ■ 昭和の大合併と大治村 22

 ■ 満を持して踏み出した町制 23

第 1 章 大治町のすがた

第 1 節 まちの風景 26

 ■ まちの位置と地勢 26

 ■ 身近な河川とともに 27

コラム 信長の川遊び 28

 ■ まちの気候 30

コラム 昔の常識、今の非常識 部活動中は、水飲み禁止？ 30

 ■ まちの緑地 31

 ■ まちの植生と動植物 32

 ■ まちの土地利用 34

コラム バブル（泡）経済 36

コラム 歴史ロマン紀行 36

第 2 節 まちの人々 39

 ■ 社会の変化とまちの人口のうつりかわり 39

 ■ 人口33,333人の記念事業 42

 ■ 未来に向かっての施策 42

第 2 章 住みよいまちづくり

第 1 節 まちの行政 44

 ■ まちの歩み～50年の変貌 44

 ■ 平成の大合併をめぐって 49

 ■ 新たな決意で迎えた町制10周年 51

 ■ スポーツセンターの完成とともに祝った町制20周年 51

 ■ 多彩なイベントで盛り上がった町制40周年 52

 ■ 行政組織の変遷 53

 ■ 吉田町長の町葬 54

 ■ 町章、町のシンボル、町の花と木 55

 ■ 着々と進む「まちづくり」 56

第 2 節 まちの財政 60

 ■ 税収と財政規模の拡大 60

第 3 節 わたしたちの代表・議会と選挙 62

 ■ 選挙 62

 ■ 議会 63

コラム 選挙も変わりつつある 65

第4節 ひろがる交流と連携の輪 66

- 世界デザイン博覧会 66
- 愛知万博 66
- 海部地域で深める交流 68
- 友好自治体との提携と交流 69
- コラム 同じ県でも違う食文化 71
- 大学との連携協定 71
- 未来につなぐために 72
- コラム 懐かしい交流の数々 73

第5節 住民自治と協働のまちづくり 74

- 地域住民の防災とコミュニティの拠点 74
- コミュニティ推進協議会 75
- 地域に密着した活動をする自治会 75
- 各地区の代表者 76
- 積極的に活動してきた子ども会 76
- コラム きれいなまちをみんなで いきいき花クラブ 77

第3章 快適なまちづくりのために

第1節 みどりのあるまちづくり計画 80

- 住みやすいまちのすがたのために 80
- 憩いの公園 82

第2節 発展する交通網 84

- 名古屋環状2号線（名二環、国道302号、伊勢湾岸自動車道） 85
- 主要地方道名古屋津島線（バイパス） 86
- まちの道路と橋梁 86
- 公共交通 88
- コラム みんなで押した木炭車 88
- コラム 開通が待ち遠しいリニア中央新幹線 90

第3節 豊かな生活環境をめざして 91

- 整備が進む下水道と排水機場・調整池 91
- コラム マンホールふたのデザインとマンホールカード 94
- よりよい環境をめざしたごみの処理 94

第4節 安心安全なまちづくり 96

- 大きな災害 96
- 昭和51年9月豪雨と突風 96
- 平成3年9月豪雨 97
- 平成6年9月豪雨 98
- 平成12年9月東海豪雨 98
- 災害に強いまちづくりのために 101
- 指定避難所を設置 101
- 防災訓練 101
- 防災行政無線の整備 103
- 災害時の協定・協力事業所 103
- 被災地への職員派遣 104
- 海部東部消防組合 104
- 火災件数と無火災記録 105
- 海部地区水防事務組合 106
- 砂子防災公園 106
- 南海トラフ地震 107
- 地域と自らを守る、自主的な活動 107
- 消防団 107
- 女性消防クラブ 108
- 自主防災組織 109
- 犯罪・交通安全対策として 109
- 自主防犯団体 110
- 地域防犯の要 大治交番 111
- 交通安全 111
- 交通安全を見守る団体 112

第4章 未来につなげる産業経済

第1節 伝統をつなぐ農業 114

- 農業のうつりかわり 114
- 大治農協からJA海部東、さらにJAあいち海部へ 116

第2節 暮らしを支える商業 119

■ 商業のうつりかわり	119
■ 地域とつながる商工会	120
■ 特産品を使用した商品開発	122
コラム 子どもの聖地 まちの駄菓子屋さん	123
第3節 歴史を支える工業	124
■ 工業のうつりかわり	124
■ 特産品の扇骨	126
第4節 経済活動を支える金融	128
■ まちの金融機関	128

第5章 やさしさと共生するまち 福祉、保健・医療

第1節 社会福祉活動の充実	132
■ 社会福祉協議会	132
■ 大治町総合福祉センター「希望の家」	133
■ 社会福祉に貢献する組織	134
■ 地域の交流	135
■ 福祉巡回バス	136
第2節 すくすくとした育ちのために	137
■ 子育て支援施設	137
■ 子育て支援事業	140
コラム けがの治療	142
第3節 豊かに年を重ねて	144
■ 老人福祉計画・介護保険事業計画	144
■ 地域包括支援センター	145
■ 在宅介護支援センター	145
■ デイサービスセンター	146
■ 老人憩いの家から多世代交流センターへ	146
コラム 老人憩いの家	146
■ 交流と生きがい	147
第4節 すべての人にやさしいまちづくり	149
■ 大治町障害者福祉協会・大治町障害児（者）を持つ親の会	149
■ 通所施設（障害福祉サービス）	150

■ コミュニケーションの拡充	151
■ 災害時の居場所づくり	151
第5節 健康な心と身体を支えるまちづくり	152
■ 国民健康保険	152
■ 後期高齢者医療保険	152
■ 福祉医療制度	153
■ 保健センター	153
■ 医療機関	155
■ 病児・病後児保育	156
コラム コロナ禍での生活	157

第6章 豊かな個性と人間性を育む教育

第1節 教育行政のあゆみ	160
第2節 すこやかに遊び学ぶ幼児教育	161
■ まちの幼児教育施設	161
第3節 まちの小学校・中学校	163
■ 増え続ける児童・生徒数	163
■ 教育環境の向上をめざして	164
■ 自慢の学校給食	165
■ ゆとりある学校週5日制	167
■ 子どもの健全な教育に向けた学習指導要領	167
■ 一人一人に寄り添う教育活動	169
■ 安全を見守る取り組み	169
■ 新型コロナウイルス感染症対策	170
■ 教育のデジタル化に向けたICT環境整備	171
■ 工夫を凝らした水泳の授業	172
■ 地域の人々とつくる、学びの環境	173
■ 大治小学校	175
■ 大治南小学校	177
■ 大治西小学校	180
■ 大治中学校	183
コラム 学校で使われる言葉	187

第4節 充実した日々のための学び 188

- 生涯学習を支える施設 188
- 社会教育団体とその活動 191
- 公民館での学び 195

第5節 健康寿命と生きがいづくりのスポーツ活動 200

- スポーツ施設の充実 200
- 盛んなスポーツ団体の活動 202
- 活発なスポーツ事業 204
- 総合型地域スポーツクラブ「スポーツプラスおおはる」 205

第7章 歴史文化の伝承と新たな文化

第1節 守り、伝える文化財 208

- まちの文化財制度 208
- 歴史文化を知り、親しむために 208
- 文化財フェアの開催 210
- 指定文化財 212
 - 県指定文化財 212
 - 町指定文化財 214
 - 郷土文化認定 218
 - 埋蔵文化財 219
- コラム 大治町の文化遺産「応挙館」をご存知ですか 220

第2節 伝統芸能の伝承 222

- 神楽太鼓 222
- 嫁獅子 222

第3節 地域に伝わる信仰と風習 224

- 信仰 224
- 風習 228

第4節 郷土の地名 234

第5節 伝統の継承と新しい文化 236

- 著名な文化人 236
- 新しい文化の芽吹き「つるし飾り」 237

コラム わが生涯ミステリー、その背景にあるもの 238

年表・資料

大治町年表（昭和50年～令和6年） 240

資料 246

- 歴代町長・助役（副町長）・教育長・議長（昭和50年～令和7年） 246
- 行政機構図 247

主な参考文献一覧 249

資料提供者及び協力者一覧 251

あとがき

凡 例

- 1 本書は、大治町町制施行 50 周年（令和 7 年 4 月 1 日）を記念して刊行したものである。
- 2 記載の対象は、原則として昭和 50 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月までとしているが、必要に応じてその前後の内容も掲載している。
- 3 本文中では、原則として敬称・敬語を省略した。
- 4 年表記は和暦を基本とし、必要に応じて西暦を（ ）で付した。
- 5 本文中に、身分や職業に関する差別的な用語や表現が用いられている場合があるが、歴史的事実を正しく認識するために、本書ではそれらの名称をそのまま使用したものであり、差別を助長・容認するものではない。
- 6 本書の主な参考文献は、参考資料も含め、巻末に一覧で付した。
- 7 本文中の図・表は、章ごとに通し番号を付した。
- 8 写真は協力者から提供を受けたものも含まれており、著作権等があるため、無断での使用・転載・複製を禁止しているものもある。